

1985 (毎月1回)
発行

1月号

(村の面積)

332.60km²

発行所 福井県大野郡和泉村

広報 いずみ

(昭和60年1月1日現在)

村の人口

総人口	1,269人(-4)
男	643人(±0)
女	626人(-4)
出生	1人
死亡	2人
転入	5人
転出	8人
世帯数	408世帯(-2)

謹賀新年

60年元旦



みんなで越美北線を利用しよう

年頭のごあいさつ



村長 新井 一雄

村民の皆様、栄えゆく千代の春、つつしんでお祝い申し上げます。

旧年を送って新しい年を迎えますことは、若い人にとっても、お年よりにとっても、なんとなくおめでたい気分分するものですが、皆様には、

お健やかに輝かしい新春第一日をお迎えになられたことと拝察し、心からお喜び申し上げます。

昨年、皆様は、温かいご理解とご協力によりまして、村政を着実に推進することができましたことを厚くお礼申し

あげる次第であります。

昔から伝えられている言葉に、「一年の計は元旦にあり」というのがあります。私達は毎年、新春を迎えるたびに、今年こそはと新生活設計を考へて奮起一番するのですが、

月日が過ぎて、いざ年の暮れになりますと、あれもこれもと悔いを残しがちなものなのです。しかし今年こそは、そういう悔いを残さないように今日から大いに気持ちを新たに

今日よりは明日、明日よりは明後日と前進しようではありませんか。

ませんか。

さて我が国は、政治・経済ともに誠に厳しい情勢が続いており、財政再建を主体とした行財政改革のなかで、地方への締めつけが一段と強まる

筋を誤ることのないよう長期的展望にたつて、村政に取り組んでいかなければならないことはいうまでもありません。

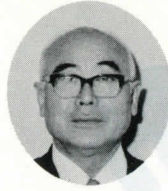
いま本村では、二十一世紀への激しい社会の変化に対応できる適切な施策が必要と考え、活力ある村づくりのための

新基本構想の策定を進めており、五十九年度中に決定したいと考えてあります。

本年は、この構想の実現へ向けての第一歩を踏み出す年になるわけであり、私も初心を忘れず新しい時代への、潤いと活力ある村政の推進に全力を尽くす決意であります。

年頭にあたり、皆様の一層のご支援、ご協力をお願いいたしますとともに、ご健勝とご繁栄を心からお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。

年頭のごあいさつ



議長 田村 重次郎

明けましておめでとございます。

六十年の新春を迎え、村民の皆様とともに新年を寿ぎ皆様のご健康とご繁栄を心からお喜び申し上げます。昨年、国の行財政改革に

より地方自治体も極めて厳しく、多事多難な年でありました。村民の皆様をはじめ関係各位の絶大なご支援とご協力により、大過なく越年できましたことを心から感謝申し上げます。

しあげる次第であります。

さて今年もまた国においては、行財政改革の推進と財政再建を重点に徹底した予算の見直し、削減が行われており、地方公共団体にも各種事業の抑制や補助率の引き下げなど、また住民生活にも大きく影響してくるものと考えられます。

こうした現実をふまえ、村政の諸問題の解決と村民福祉の向上のため懸命の努力を傾注し、豊かな住みよい村づくりのため与えられた職責を果たしたいと思っております。

本年も相変らぬご支援、ご協力をお願い申し上げます。皆様のご健勝とご多幸をお祈りいたします。

1985年 農業センサスにご協力を！

2月1日現在で調査

この調査は、今後の農業の進むべき方向を明らかにするため、必要な基礎資料の整備を目的として全国いっせいに実施しますので、農家の皆様のご協力をお願いいたします。

◆調査対象 農家および農家

◆調査事項 世帯の状況、農業労力、耕地、農業用機械など。

◆調査期日 2月1日現在で調査員が訪問して調査します。

◆調査対象 農家および農家

油坂峠の清水句碑

峰高ふ涌くは恵みの清水かな



油坂峠にある清水句碑

油坂トンネルを抜けて白鳥
よりに百メートルほど下った
ところの左側にコンクリート
の階段がある。そこから上っ
ていくと数分で昔、牛馬の往
来を忍ばせる一間幅位のなつ
かしい山路跡に出る。その道
をさらに奥深く一、二分進む
とすぐ下りになっていて、一
見してその辺りが旅人や牛馬
の休み場の峠になっていたこ
とがよくわかる。

そこに、この句碑がある。
今はなんの苦勞もなく、ま
た、汗一つかかずにこの峠ま
でたどり着くことができるが
かつては白鳥側から上りきる
には大変難儀なところで、油
汗が流れたほどにたつらかつた
という。油坂という地名も、
そんなところから生まれたら
しい。
冒頭の句は、この峠には一
滴の水もなく、とくに夏の炎
暑に人々の大変苦しむのを見
るに忍びず、峠の岩を掘りあ
けたところ、まことに神仏の
加護ともいべきか、清水が
こんこんとわき出たという。
確かに句碑の横の清水らし

き湿地は、いずみの発祥の意
味をもち、九頭竜の源泉をそ
こに見る思いがして、句碑を
訪れた人はなんともいいよう
のないほのぼのとした温かさ
を感じるのではないでしょう
か。

世にも不思議な清水句碑の
全文を紹介することにしませ
よう。

(教育委員会では、今年度
のふるさと探訪行事にこの清
水句碑の見学を組み入れたい
と考えています。)

〔正面〕

峰高ふ
涌くは恵みの
清水かな
友起坊

〔右側面〕

追加
越穴馬
間住舎
一 蹄
捜し得た峰の清水や常ならず
文政四辛巳七月日
施主 原左次郎正勝

〔左側面〕

世にもしれる油坂上下行程二里の難路に一滴の水もなく、
行きかう人々及び牛馬にいたるまで、夏天の炎暑に苦しむこ
と見るに忍びず、数日山に登り、水気のあるべきここかしこ
をうがち見れども、いまだその所をえざれば、この上は神仏
の加護ならでとはと、一信に念じ念じ、濃越の峠にあやしき岩の
うるはしきは、これぞ水気のしるしならんと、その岩を起こ
しうがつに、土中一面の岩壁にも等しく、容易ならざるを人
力のおよぶまではと土を除け、岩をうがつに、不思議なるか
な清々たる麗水湧き出するに、かつ驚き、かつ恐れて

〔裏側〕

衆人同方に歛びの声を発しけるやいなや、いずともなく
数十羽の蝶一群れ来たりて水上に舞うは、全く神仏のなさし
めたもうならんと、みなみな奇異のおもいをなせしに、しば
らくしていず地ともなく立ち去り待りぬ。全くの神仏の擁護
によりて、年来の素願、今日に満ちけるにぞ、千代よろず代
までも、つきせぬながれを壽き合ふ事とはなりぬ。さはこの
湧き水を蝶の水と呼ぶもうべならん。ここにそのあらましを
述べ伝えるならし。

皎月亭
舞ふ蝶も 影を移せし 清水かな
兔園

(大野史誌編さん室解説)

保険料の納め忘れはありませんか

国民年金に加入されているみなさん、保険料の納め忘れ(未納)はありませんか。まだ納めていない方は、早く納めるようにしてください。

「一カ月や二カ月くらいの未納はたいしたことないわ」なんて、安易な考え方をしておられる方もいますが、未納期間が重なると将来大切な年金が受けられないといったことにもなりかねません。

また、未納にしておいた保険料をあとから納めるにしても、毎月の保険料とあわせて納めることになるため、家計におよぼす経済的負担はかなりのものになります。

無理のない納入のためにもこれからは国民年金の保険料

お父さんらの似顔絵を展示

先に募集していた第二回簡易似顔絵コンクールには村内の二歳から六歳までの幼児から四十一歳の出品がありました。

作品は、お父さんやお母さんの似顔絵が多く、一月末まで下穴馬郵便局と中竜鉦山郵便局に展示してあります。

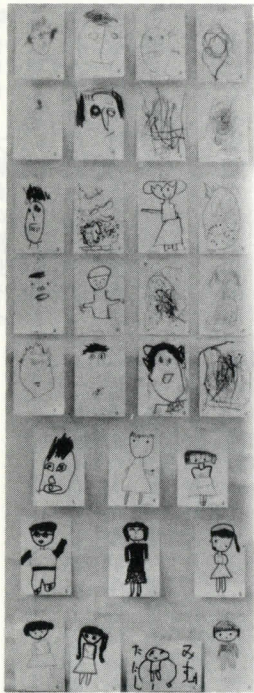
短歌コーナー

霜枯れの野は雪をまつ姿して
静かに眠る春日さすまで
水蓮

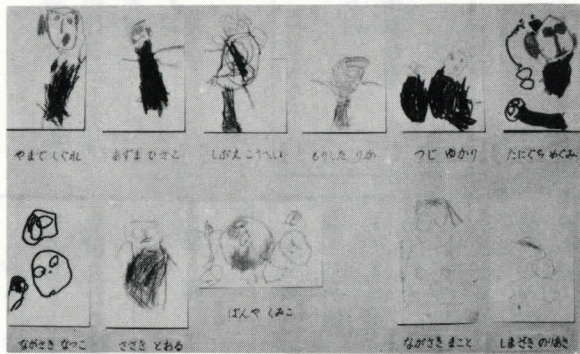
緑なる野菜にしばし別れ告ぐ
霜月の風ほほに冷たし
湖水

あこがれのますほの貝を拾はんと
三度訪ねぬ敦賀の海へ
とみ子

も他の必要経費と同様に家計のなかに位置づけると共に、老後や万一の時に確実に年金が受けられるよう納期限までにきちんと納めるようにしましょう。



下穴馬郵便局に展示してある似顔絵



中竜鉦山郵便局に展示してある似顔絵

水んさい NO200

かごやま 山みりの

<幕内に長くふんばるコソ>
今場所幕内下位

星取表
0000000000●00000

次場所幕内上位

星取表
●●●●●●●●000000

次場所幕内下位

星取表
0000000000●000000

星取表
●●●●●●●●●●●●●●●●

次場所幕内中位

たはし三年先
のけいこを志
す
北ちやん
たあ

人のうごき

▲赤ちゃん誕生 (敬称略)

名前 保護者 続柄 住所
木下かおり 守弘 次女 朝日

▲おめでた (敬称略)

名前 住所
岸本 正一 大野市
三坂千鶴子 上大納
尾岸富美雄 勝山市
嶋田美奈子 下山

▲おくやみ (敬称略)

名前 住所 年齢
山岸まさを 上大納 58歳
森 辰藏 下山 81歳

